

市長提案説明要旨

令和6年12月6日

本日ここに令和6年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などのご説明を申し上げます。

《はじめに》

<市政運営>

先日、目に留まった言葉がありましたので、ご紹介させていただきます。

「祭りでは…子どももお年寄りも、いろんな立場の人が何らかの役割を果たすように構造上デザインされている」。

祭りごとのこうした仕組みは、実は「政（まつりごと）」の本質を成すもので、大切なのは参加であり、決定に関わることです。誰もが、その決定に関与していく中で、公共（パブリック）ということが成り立つとありました。コロナ禍が収束に向かい、お祭りやイベントが以前のように戻っていく中で、改めて感じたところであります。

私は、市政運営を担って以来、皆さんから寄せられる数々のご意見やご提言について、仮説を立てながら、あるときは、直接現場に立ち、話し合いをして、課題解決のため、市民の皆さんと真摯に向き合っております。引き続き、私の信条である「一つひとつコツコツと誠実に」を念頭に置き、着実に歩みを進めてまいります。

<令和7年度予算編成方針>

現在、市におきましては、令和7年度当初予算の編成作業を行っております。

本市の財政状況につきましては、令和5年度一般会計決算において、扶助費や人件費、補助費などの経常的経費が増加したことにより、経常収支比率が92.5%となり、前年度比で1.4ポイント上昇し、財政の硬直化が進んでおります。また、地方債現在高は前年度から10億8千万円減少し、160億8千万円となった一方で、財政調整基金については、令和5年度末現在で17億7千万円と前年度から4億5千万円の減となりました。

その財政調整基金ですが、12月補正予算において、決算剰余金から3億7千万円を積み立てる一方、財源調整により約2億7千万円を取り崩さざるを得ない状況となっております。今後、人事院勧告に伴う給与費などの増が見込まれており、追加の取り崩しも予定しているところです。この財政調整基金を含め、基金全体の残高は類似団体と比較しても少ない額であり、財政指標の低迷の要因の一つとなっております。

今後の見通しにつきましては、歳入では、令和7年度は市税全体で令和6年度比1.4%増、金額では約1億5千万円の増を見込んでいるものの、令和7年度以降5年間の年収については、市内基幹産業の構造改革の影響などにより、年度ごとの減少は平均すると年1%程度、金額で約1億円ずつ減少するものと見込んでおります。

歳出におきましては、少子高齢社会の進行、子育て支援施策の強化、ICT機器の維持管理・更新、整備後数十年を経た公共施設などの維持管理・老朽化対策・更新に加えまして、引き続き物価高騰などによる歳出増が見込まれており、市の財政運営は極めて厳しい状況が続く見通しとなっております。

このような現状や見通しを鑑み、令和7年度予算編成に当たっては、将来に渡り市民に寄り添った行政サービスを持続的に提供していけるよう、現状認識を適切に行い、既存事業の見直しをしつつ、第四次鹿嶋市総合計画をはじめとする各種計画の推進、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標の達成に向け、特に重点化すべき事業を慎重に選定してまいります。

さらには、極めて厳しい財政状況において、災害などの緊急的な対応に備えておく必要性を踏まえ、財政調整基金に頼ることなく、当該年度の歳入規模に応じた収支均衡の予算編成を引き続き目指しております。

予算編成の手法として、各部への枠配分方式を取り入れており、人件費や公債費、扶助費などの義務的経費や将来支出が見込まれる固定経費を踏まえた上で、歳入予算に応じて各部の配分額を算出しました。各部においては、配分枠の範囲で十分な調整を行うとともに、主体的かつ責任をもって、まさにゼロベースの視点から事業の見直しなどに取り組んでいるところであります。

予算編成におきましては、「ロジックモデル」による事業の評価や検証、選択、見直しなどを行いながら、限られた財源の効果的、効率的な活用を図る必要があります。今後の市の将来を見据え、「持続的な市民サービスの提供のための」取り組みにご理解をいただきますようお願いいたします。

<日本製鉄鹿島硬式野球部>

10月下旬から行われた第49回社会人野球日本選手権大会において、日本製鉄鹿島硬式野球部（カシマブルーウィングス）は8強入りの成績を収めました。2019年以来のベスト4をかけた一戦は、息詰まる接戦を繰り広げ、延長タイブレークの末に惜敗しましたが、選手たちは全力を尽くして戦っていただきました。

そして、2015年から2期目として、チームを率いた中島彰一監督が今シーズンをもって退任されます。これまで、全国大会出場という数々の功績やチームに大きな活力を与えていただいたことに敬意を表するとともに、感謝申し上げます。来シーズンに向けて、藤澤英雄新監督のもとで、さらなる飛躍を期待しております。

<鹿島アントラーズ>

2024明治安田J1リーグは、第37節終了時点（12月1日時点）で、我らが鹿島アントラーズは5位となっております。タイトル獲得までは届かなかったものの、今季はこれまでホームで負けなしと、常勝軍団のプライドを感じております。

8日の最終節には、ぜひスタジアムに足を運んでいただき、チームに熱い声援を送っていただきますようお願いいたします。

《事業の概要等》

続きまして、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

（共に学び成長しながら生きる／元気で賢い鹿嶋っ子育成）

○フィリピンとの姉妹都市提携

市では、第四次鹿嶋市総合計画に“未来を担う人財「鹿嶋っ子」を育む”ための施策を掲げ、学校教育においては、国際化社会に必要なスキルや、生き方の選択に役立つ教育を充実させ、子どもたちが自ら考え、将来の夢や目標を描ける機会の充実を目指しております。

また、児童生徒がこれまで学習してきた英語を活用する場や異文化交流を行う機会の創出を図るとともに、産業・観光・スポーツなどの特色を生かし、他国との親交を深めることで、本市の経済振興や文化交流、国際化の進展につなげてまいりたいと考えております。

このため、今年度の重点事業としまして、児童生徒の英語力のさらなる向上を図るため、「英語を公用語とする国との姉妹都市提携」に向け、候補地の選定調査を進めてまいりました。選定調査において、本市における産業、観光、農業、スポーツ、教育など、さまざまな分野での交流が期待され、さらに英語教育に対する支援につきましてもご賛同いただいたことから、「フィリピン共和国ダナオ市」を訪問し、11月14日に姉妹都市を提携いたしました。

ダナオ市は、サッカー競技など、スポーツツーリズム推進を掲げ、国際的なスポーツイベントを開催されているほか、工業地帯の計画や港湾活用などにも積極的に取り組んでおります。本市との多くの共通点を持ち備えていることから、この度の提携を契機に幅広い分野での友好関係が強化され、お互いの発展につながることを期待しております。

（環境未来都市・鹿嶋をつくる／行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋）

○第44回鹿嶋市花火大会

10月12日に第44回鹿嶋市花火大会が開催されました。

今年度は、試験的に栈敷席を整備・販売したところ、約280席が完売となり、

たいへん好評を得ました。

北浦の湖上から打ち上げられる約1万発の花火が水面を彩り、フィナーレの大玉108連発では、その迫力に、観覧された方々から大きな歓声があがりました。

○シンいばらきメシ総選挙2024 ー市町村対抗いばらき最強グルメ決定戦ー

茨城ご当地グルメの頂点を決める「シンいばらきメシ総選挙2024 ー市町村対抗いばらき最強グルメ決定戦ー」が10月12日から14日にかけて、茨城県三の丸庁舎にて開催されました。本市からは一般料理部門で、「ツマギアンズ」様が提供する、鹿嶋市唯一のブランド豚を使用した「かしまし豚（とん）のホルモン豚（ぶた）バラ丼」がエントリーしました。

事前のWEB投票では見事1位に輝き、イベント期間中も、連日会場内で一番長い待ち行列ができる人気ぶりでした。結果として、審査員が決定するグランプリは逃したものの、1日目、2日目終了時点の現地投票ではともに1位を獲得し、協賛企業賞を3つも獲得するという素晴らしい成績となりました。

このイベントを通じて、多くの方に、鹿嶋市とかしまし豚（とん）のPRができたものと思っております。今後も、さまざまな形で地元特産品の生産支援・販路拡大に努めてまいります。

○第14回鹿島灘はまぐり祭りの開催

新型コロナウイルス感染症などの影響で令和2年度から中止していた鹿島灘はまぐり祭りですが、今年15日、5年ぶりに開催いたします。

久しぶりの開催となる今回は、「食べる・楽しむ・学ぶ」の3つをテーマに、鹿島灘はまぐり、鹿島たこ、新たにブランド化された常陸乃国しらすなどを使用した食事メニューの提供はもとより、寒ヒラメ・常陸乃国いせ海老やあんこう吊るし切りの調理実演、遊漁船による体験乗船、模擬セリ、隣接する茨城県栽培漁業センターの特別公開など、盛りだくさんの内容となっております。

5年ぶり、14回目となる鹿島灘はまぐり祭りに、ぜひ多くの皆さまにご来場いただければと思います。

（スマート&コンパクトな鹿嶋をつくる／暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋）

○中学生考案によるふるさと納税返礼品の製品化

昨年度、鹿島中学校の生徒の皆さんに総合的な学習の時間の中でご提案いただいた「ふるさと納税返礼品」のうち、「焼芋アイス」が10月に製品化され、寄附の募集を開始しております。この間、生徒の皆さんには、8月のかしま商工夏イベントでアンケート調査を行うなど「どうすれば全国の寄附者に選んでもらえるか」をテーマに、さまざまな研究を重ねていただきました。

また、焼芋アイスを返礼品として出品いただいております「リカー&フーズひし

や」様には、生徒の意見を真摯に受け止め、製品化への取り組みをビジネス目線で支援をしていただきました。

そして、11月9日のサッカースタジアムでのホームタウンデイズ鹿嶋の日では、生徒の皆さんが店頭に立ち積極的にPRをしていただいた結果、持ち込んだ焼芋アイスが完売し、その場でふるさと納税をしていただいた方もいらっしゃるなど、たいへん好評でした。

議員各位やエフエムかしまで放送をお聞きの市民の皆さまにおかれましては、中学生と市内事業者のコラボで実現した「焼芋アイス」を市外の方にご紹介いただき、ふるさと納税の呼びかけをお願いしたいと考えております。

今後も、児童・生徒と市内事業者とのコラボをはじめ、さまざまな可能性を追求しながら、返礼品の開発を多面的に支援し、ふるさと納税の推進に努めてまいります。

○マイナ保険証の利用促進

12月2日、これまでの健康保険証の発行が終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みへと移行されました。お手元にある健康保険証は最長で1年間ご使用いただけることとなっておりますが、有効期限経過後はマイナ保険証をお使いいただくか、マイナ保険証をお使いでない方はご加入の健康保険の保険者から送付される「資格確認書」をお使いいただくこととなります。

一方でマイナ保険証の全国の利用率は、9月時点で13.87%であり、本市でも国民健康保険の被保険者で17.79%、後期高齢者医療保険では11.79%となっております。

このような状況から、マイナ保険証の利用促進を図るため、11月2日、3日に中央公民館で開催された「て～ら祭」において、マイナ保険証体験会を行いました。会場では、実際に医療機関などに置かれているマイナ保険証のカードリーダーを用い、マイナンバーカードによる顔認証などを体験していただきました。

多くの市民の皆さまにマイナ保険証をご使用いただくため、引き続き周知を図るとともにマイナ保険証の利用促進に努めてまいります。

○生成AIシステム実証実験

11月8日から、新たな生成AIシステムの実証実験を開始いたしました。

この実証実験につきましては、連携協定を締結した民間事業者が無償で提供する本市専用の閉鎖環境で利用できる生成AIシステムを活用し、市の一般質問議事録や各種業務データを知識として取り込み、安全に保管・運用しながら、効果的な答弁整理や文書生成などを実現することを目的に取り組んでいるところです。

実証実験の期間は約2か月間設けており、日々の業務において効果測定を行うとともに、事業者には行政事務のノウハウを提供し、システムのさらなる改善を図っていく予定であります。

今後につきましては、実証実験の成果をもとに、将来的な導入基盤としての本格運用に向けて、持続可能な行政運営の観点から、多角的に評価・検討を進めてまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が5件、条例関係議案が2件、人事関係議案が3件、指定管理関係議案が5件、市道関係議案が1件、その他の議案2件、報告関係議案が1件の、合わせて19件であります。

予算関係議案は、令和6年度一般会計及び特別会計などの補正予算であります。

一般会計補正予算については、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ13億6,736万2千円を追加し、総額260億279万7千円とするものです。

歳入の主なものといたしましては、社会福祉費負担金などによる国庫支出金、県支出金の増、財政調整基金繰入金などによる繰入金の増、前年度繰越金の増などを見込みました。

歳出の主なものといたしましては、扶助費などによる自立支援給付事業、教育・保育施設入所支援事業及び児童手当等経費の増、積立金による財政調整基金積立金の増などを計上しました。

国民健康保険特別会計補正予算については、諸支出金などの補正であります。

介護保険特別会計補正予算については、保険給付費などの補正であります。

公共料金等集合支払特別会計補正予算については、集合支払費の補正であります。

農業集落排水事業会計については、電気料や職員給与費などの補正であります。

条例関係議案は、改正するものが2件で、「鹿嶋市医療福祉費支給に関する条例」などについてであります。

人事関係議案は、「鹿嶋市固定資産評価審査委員会委員の選任」であります。

指定管理関係議案は、「鹿嶋市大野潮騒はまなす公園及び附属施設の指定管理者

の指定について」などであります。

市道関係議案は、「市道路線の認定について」であります。

その他の議案は、「鹿行広域事務組合理約の変更について」などであります。

報告議案は、令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算（第4号）の専決処分についてであります。衆議院議員選挙に伴う事務経費3,535万1千円を追加いたしました。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、総務部長から補足説明をいたします。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。